

【HP用】

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
2026 年度技術士開業及び業務開拓のための研修会 実施報告書

開 催 日	2026 年 5 月 16 日（土）
開 催 時 間	10:00～16:35
名 称	2026 年度技術士開業及び業務開拓のための研修会（実践コース）
主 催 者 等	公益社団法人日本技術士会 神奈川県支部
開 催 場 所	産業貿易センター B1F B102 号室
行 事 内 容	本研修は、技術士がコンサルタントとして価値を発揮するために必要な「事業創出力」と「商品設計力」を講演と事前配布した仮想事例による演習を通じて体系的に学ぶ機会を提供した。第 1 部では強みを起点とした新規事業創出の考え方を、第 2 部では専門力を活かした商品設計の実践力をしていただいた。
参 加 人 数	・参加者 5 名（正会員 5 名、未加入技術士 0 名） （募集 20 名、参加申込 5 名、当日欠席 1 名） ・主催者側参加者 9 名（講師 2 名、スタッフ 7 名）
研 修 会 概 要	事前に受講者にコンサルタント募集案件リストを配布して、新規事業創出及び商品設計に関する仮想事例をそれぞれ 5 件示しておくことで、受講及び演習への取りかかり易くした。それぞれの演習についてもワークシートを作成して配布することで、演習の流れをつかみやすくした。 第 1 部：現場技術から新規事業を生む技術士の思考法 講師：藤井 隆満氏（応用理学） ・イノベーション＝新結合：強み × 伸びる市場をキーワードに新規事業創出のための思考プロセスを説明した。 ・生成 AI を用いて特許調査からテーマを絞り込む手法を紹介した。 ・事例の一つを使って、加工技術から医療分野における応用に至る流れを説明した。 ・仮想事例を用いた演習により、テーマを立ち上げる思考プロセスを体験していただいた。 第 2 部：高度専門力と価値創造力を強化する商品設計実践 講師：松下 滋氏（金属、総監） ・技術士に求められる専門的応用能力と統合的設計思考について説明した。 ・プリント基板孔開けドリルの設計を例に用途、機能整理～分解、設計条件、構成検討のステップを説明し、最後に商品化可能なものの最終整理を行うプロセスを説明した。 ・講師自身の経験談として、海外でのプロジェクトでの活動について参加したときの心構え、トピックスなどを説明した。 ・仮想事例を題材とした演習を通じて、要求分析、コンセプト設計、リスクアセスメント、設計レビューを実践的に行った。
   会場全景 藤井講師 松下講師	

以 上